

応援者の屋形船往路無料搬送



東京マラソン2018.2.25(日)

浅草橋⇒日本橋栈橋

浅草吾妻橋船着場⇒箱崎防災栈橋⇒浅草吾妻橋船着場

屋形船東京都協同組合では、毎年恒例として行っているイベント、『東京マラソン応援屋形船』を今年も実施いたします。昨年は、マラソンゴール地の変更により、1回お休みしましたが今年は、吾妻橋船着場から出船、隅田川を下り、箱崎防災船着場経由で吾妻橋船着場に戻るコースと、浅草橋からマラソンゴール地である東京駅に一番近い日本橋船着場までの片道コースの2コースをご案内いたします。

このイベントは、災害時に使用される公共防災船着場の訓練も兼ねております。

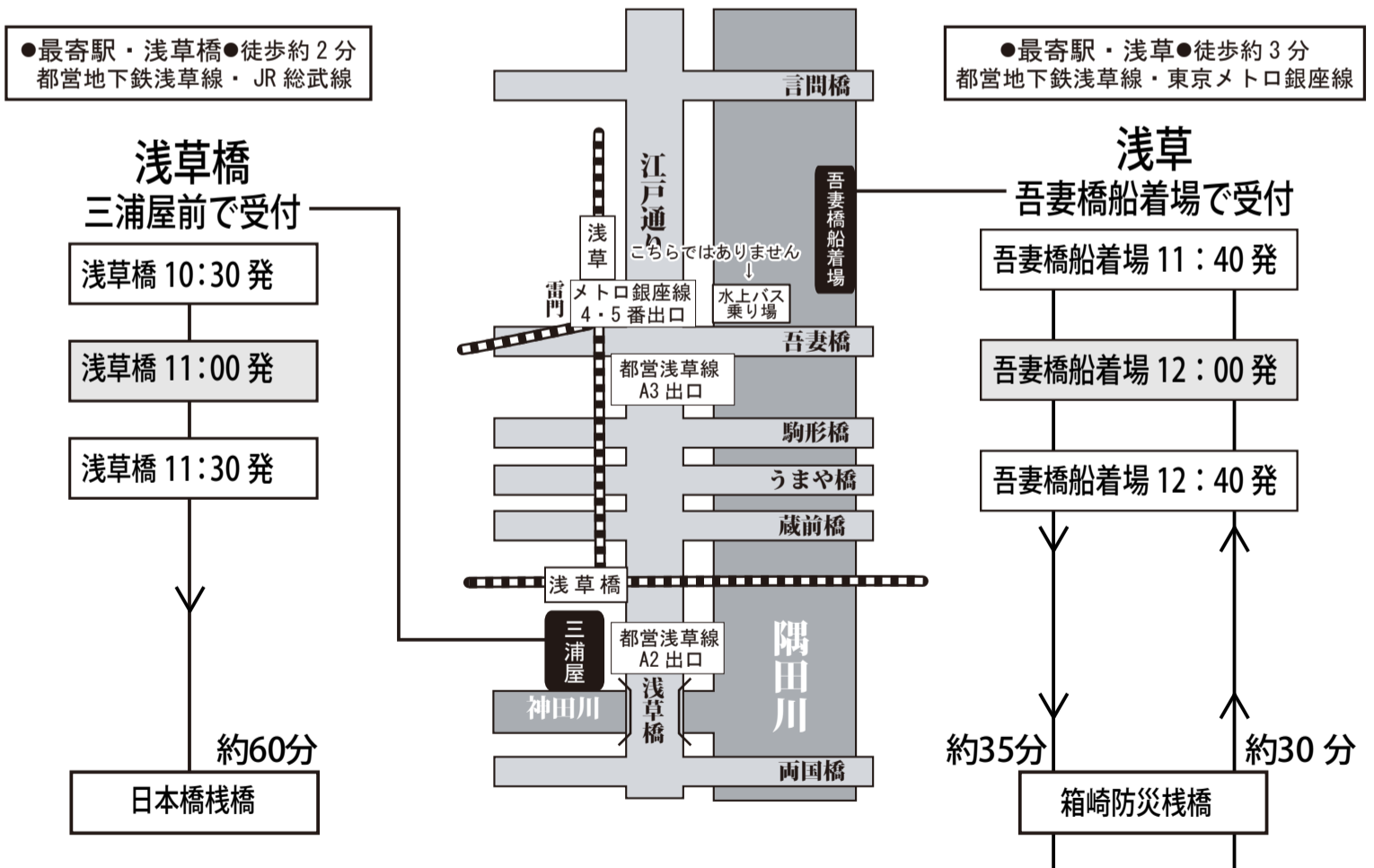
この機会に江戸の風物詩である屋形船に乗って水辺からの東京をお楽しみ下さい。

浅草橋、吾妻橋付近で背中に「YAKATABUNE」のロゴ入り赤ジャンパーを着たスタッフが、チラシを配ってご案内しております。

ご乗船定員は1便約60名、先着順とさせていただきますので出船時間前にご集合ください。

※悪天候の場合には、中止もありますのでホームページ又は、現地にてご確認ください。

義援金箱を設置してありますので、ご協力をお願いします。



東京都は、首都直下型地震が発生した場合、公共交通機関の運行停止により都内に滞留する帰宅困難者が約329万人発生すると発表しています。首都圏下には、東京都下あるいは他県からの就業者、通学者も多く、交通の寸断による混乱は必須です。陸上の交通網が使えない場合、重要な輸送ルートとして舟運が見直されています。

屋形船は、発電機とプロパンガスを使用できる上、トイレや冷暖房が設備されており、飲料水や一定の燃料を確保していることから一時的滞在も可能です。このイベントは、東京マラソン開催日に災害を想定し、帰宅困難者搬送支援を目的とし、防災船着場の利用実証実験を兼ねております。